

金	1	大安
土	2	赤口
日	3	先勝 定休日
月	4	友引
火	5	先負
水	6	仏滅
木	7	大安
金	8	赤口
土	9	先勝
日	10	友引 定休日
月	11	先負
火	12	仏滅
水	13	大安
木	14	赤口 プチ茶会
金	15	先勝 プチ茶会
土	16	友引 プチ茶会
日	17	先負 定休日
月	18	大安
火	19	赤口
水	20	先勝
木	21	友引
金	22	先負
土	23	仏滅・天皇誕生日 定休日
日	24	大安 定休日
月	25	赤口
火	26	先勝
水	27	友引
木	28	先負
金	29	仏滅 年末年始休暇
土	30	大安
日	31	赤口 1/4迄

The お道具拝見【長次郎七種 楽了入 臨濟写茶碗】

今回の **プチ茶会 12/14 (木) 15 (金) 16 (土)** ではこの茶碗を
使用させていただきます

この茶碗の釉立ちが5つに焼分けられているので、禅宗臨濟の五山に分かれているのにとえて臨濟と銘したのである。一説には臨濟禪師は禅宗の禪師の中で一番に偉い。この茶碗も長次郎作赤茶碗の中では第一の名品だということで臨濟と銘したとあるが、利休といえども長次郎滅後ならいざ知らず生きていた内から、その一生の作品中これが一番だと極めてしまうはずはないから、前説の方が理屈に合っている。紛失し現存せず。「長次郎七種」に数えられる赤茶碗では、畠山記念館の「早船」が唯一現存する
京都美術青年会誌第九号より



了入中印共箱



月刊 いつもの



(題字・三輪休和)

98号

2017年12月発行

ちょっといづく「ママ知識」 長次郎茶碗3タイプの器形について

①タイプ 手捏(てづく)ね成形でありながら、轆轤挽きされたごとくにまったく歪みのない茶碗で、胎土(たんど)陶磁器の素地となる土)はやや厚く、高台は小振りして正円形に削られているもの。赤茶碗「無一物」・「太郎坊」 黒茶碗「大黒」などに代表される。

②タイプ 腰が低く張った茶碗で、全体に薄作で、口端にうねりが付けられ、胴の一部に歪みがあるものもある。この器形は美濃窯の茶碗に共通するところがあるが、しかし高台は低く、比較的小さいもの。黒茶碗「俊寛」・「面影」などに代表される。

③タイプ ①②いずれのタイプにも入れがたい茶碗で、腰が張ったものや腰の丸いものなどがあり、高台の作行きにも変化があつて器形は一定しない。黒茶碗「あやめ」・「まこも」などに代表される。

これら3タイプに分類した作行きの違いは①制作年代の違い②作者の違い③需要者の好みの違いなどが想定されるが、①タイプがもっとも早く造られたと考えられ、赤茶碗には試作的な部分が認められるため始めは赤茶碗が造られ、ほどなく美濃窯の黒釉技法が導入されて、黒茶碗が焼かれるようになったと推測される。③タイプのような作行の著しく異なるものは作者が異なるのではないかという説もあり、その根拠は楽茶碗のような手捏ね物には手癖が現れるという見解に因るもので、作行きの違いを手癖の違いと見なしてのことである。「宗入文書」によると長次郎と2代常慶の時代に、長次郎、宗慶、宗味、常慶という4人の人物が存在していたとあるが詳細は不明である。
楽茶碗の400年伝統と創造より












プチ茶会使用 時代デルフト窯 茶碗

デルフト窯はオランダの中心窯業地。15世紀アントワープを経由してイタリアより伝えられた技術を用いて、マヨリカ陶とよばれる錫釉多彩色の陶器を生産していたが、17世紀初頭、中国よりもたらされた青花カラック磁器に触発され、中国磁器のモチーフを模倣した作品が造られるようになった。17世紀前半には白濁の錫釉を施すことにより、より白い器表を造り出し「デルフト磁器」の名を高めた。18世紀には中国模様のほか、日本の柿右衛門様式をモデルとした皿・鉢などが製作されヨーロッパ各地の窯業地に影響を及ぼした。

12月号 季節のお買得商品

☎ 0598-21-3178

			
武村利左衛門 勅題「語」李朝唐草茶碗 ¥7,200→¥5,000	武村利左衛門 干支「戌」飴釉茶碗 ¥6,000→¥4,200	武村利左衛門 富士の絵粉引茶碗 ¥7,200→¥5,000	武村利左衛門 勅題「語」千点紋茶碗 ¥6,000→¥4,200
			
坂下雄峰 日の出大甕 ¥34,000→¥23,800	戸上明道茶杓「彩鳳」 ¥14,500→¥9,800	戸上明道茶杓「梅の香」 24,800→¥17,300	金谷宗林 突羽根蓋置 ¥14,500→¥9,800
		大野芳光 南鏡突羽根蓋置 ¥64,800→¥45,000	

..編集の窓..

11 12月号は各地の紅葉を紹介させていただきました



談山神社の紅葉 H17 11 撮影

photo by S.A

談山神社の紅葉
談山の名の由来は六四五年、権力を握って国政をほしいままにしていた蘇我氏を中大兄皇子が中臣鎌足らと協力して倒したという「大化の改新」の談合をこの多武峰にて行い、後に「かたら山」「談所ヶ森」と呼ばれることとなる。飛鳥の死後、七〇一年に開かれ、今日ではそんな国家改新の舞台となったことなど感じさせないほど春の桜、紅葉に染まる秋は美しく人気のスポットと

ご案内

ギャラリー森田刊行誌『いつものギャラリーさん』

『刊行誌いつものギャラリーさん』は来号よりホームページ上の配信のみになります 一般向けの印刷物の配布は今月号をもちまして終了いたします ※尚ギャラリー森田「華乃会」会員様には これまで通り配布させていただきます

ギャラリー森田ホームページ
<http://www.gallery-morita.co.jp/>
gallery morita スタッフぶろぐ
<http://ameblo.jp/gallerymorita/>

facebook ■ご不要になりましたお道具 など どうぞお売り下さい。ご覧ください!

月刊「ぎやらりいさん」編集プロジェクト



干支・御題商品 三割引!